



*Service Above Self — They Profit Most Who Serve Best*  
Rotary International District 2660

2010年12月16日

国際ロータリー第2660地区  
地区内各ロータリークラブ  
会長様、幹事様

国際奉仕委員長 各位（またはご担当者）様  
世界社会奉仕委員長 各位（またはご担当者）様

国際ロータリー第2660地区  
ガバナー 松本新太郎  
地区国際奉仕・WCS委員会  
委員長 小林澄子

インドネシア・ジョグジャカルタプロジェクトにご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日ごろは当委員会の国際奉仕・WCS活動にご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さる11月のニューズレターにてご協力の御願いをしておりました、インドネシアジョグジャカルタプロジェクトにつきまして、下記に概要及び詳細を文章にいたしまして、再度お願いをさせていただきます。

2011年2月15日を締め切りといたしますので、国際奉仕・WCS事業をお考え中のクラブにおかれましては、このプロジェクトをご一考ください。

ご協力の程、何卒宜しく御願い申し上げます。

#### 事業の概要

内 容： 大阪府がジョグジャカルタ州に橋を送る事業に協力します。橋には協力RCの名前を刻みます。ジョグジャカルタRCが被災者に対して行っている、ミルクや日常生活援助という社会奉仕活動を支援します。

事業規模： 200万円を見込んでいます。

WCS事業： 協力RCとジョグジャカルタRCとのWCS事業となります。協力団体は大阪府、ジョグジャカルタ州となります。MGは、ジョグジャカルタ州のある地区がパイロット地区であるため、使用できません。

背 景： 平成18年のジャワ島中部地震の復旧支援の折、大阪府職員が派遣されました。その時、大阪府職員はジョグジャカルタ州から、日本で使わなくなった陸橋を現地の橋として欲しいとの要望を持ち帰りました。そして、大阪府はプロジェクトを「笑



*Service Above Self — They Profit Most Who Serve Best*

Rotary International District 2660

働 OSAKA」 と名づけた官民一体の活動として今まで行ってきました。今回は 3 橋目の事業であります。大阪府も予算的に厳しい状況にあるため、今回、橋のケレンと塗装費と運送費の一部を R I 2660 地区が引き受ける事にしました。

一方、現在ジョグジャカルタは火山の噴火が頻発し、仮設避難所での生活を余儀なく送っている人は 5 万人にのぼっています。現地ジョグジャカルタ R C から赤ちゃんのミルクや避難小屋などの緊急支援の要請が来ています。

地区国際奉仕・W C S 委員会としましては、橋と生活面の両方の支援を決定し、地区とクラブと大阪府の合同プロジェクトとして、進めることにし、地区内のロータリークラブに協力を依頼することになりました。

現 況： 11 月のニューズレターにより、協力を申し出ているクラブは、現在、添付の表の通りです。

陸橋の状況： この橋は寝屋川市の葛原歩道橋と呼ばれていましたが、現在ははずされて鶴見区中央環状線南行諸福交差点近くの仮置場に保管されています。ここで、新たに塗装を施し、ジョグジャカルタ チャンデン村に移設します。この村では橋が流された為、子供は小学校へ、村人は自分の農地へ行く為に 5 k m の迂回を余儀なくされています。

陸橋の取り外し、化粧直し、国内陸送、船便、現地への陸送、取り付けの内、私たち 2660 地区は塗装を援助します。尚、ケレン、修理、塗装 3 回が必要ですが、そのうち中塗り 1 回分を大阪府職員有志と、ロータリアン有志が労働を提供することにより、出費を安く抑え、現地への陸送の経費を捻出しようと計画しています。

- 具体的には：
- 1、協力していただけるクラブは、クラブのコンセンサスを得た金額、又は個人の寄付を集めた拠出金額を添付の協力 RC 一覧に記載の上、地区ガバナー事務所（担当：春名）迄御連絡ください。
  - 2、橋の移送据付が完了しましたら現地を訪問して贈呈式に参加します。現地訪問は来年 2 月以降になると思います。確定しましたら、協力クラブにご案内しますので、予定が合えば、ご参加ください。
  - 3、去る 12 月 11 日（土） 9 時半から大阪府とロータリアンの有志により中塗り作業を完了しました。

年末・年始で大変お忙しいことと存じますが、何卒ご検討、ご協力の程、宜しく御願い申しあげます。

敬具